

名 称	令和3年度 第2回ほどがや市民活動センター評議会 議事録	
日 時	令和4年3月23日(水) 14:00~16:00	
場 所	ほどがや市民活動センター(アワーズ) ミーティングスペース	
出席者	評議会委員	浅井 経子 委員 (八洲学園大学 生涯学習学部 教授) 小倉 敬子 委員 ((公財)かわさき市民活動センター 理事長) 近藤 博昭 委員 (横浜商工会議所西部支部 支部委員) 竹迫 和代 委員 (参画はぐくみ工房代表兼ファシリテーター) 畑尻 明 委員 (保土ヶ谷区連合町内会長連絡会 顧問)
	保土ヶ谷区役所	地域振興課 地域振興課長 椎葉 秀幸 " 生涯学習支援係長 飯島 拓 " 生涯学習支援係 岩間 千恵子 " 生涯学習支援係 ナイーム モハメド モアズ " 生涯学習支援係 和田 喜代美
	協働運営会議	代表 清水 蓬山
	管理運営業務 受託者 特定非営利活動法人 横浜市民アクト	理事長 福島 伸枝 理事 佐藤 洋志 ほどがや市民活動センター センター長 北川 有紀 " 職員 吉弘 初枝 " 職員 小林 康夫 " 職員 佐野 林太郎 " 職員 韓 昌燾

議題	1 令和3年度 ほどがや市民活動センターの運営及び業務について報告 2 アドバイスシート記入 3 その他 意見交換
資料	1 令和3年度 ほどがや市民活動センター 第2回評議会委員・関係者名簿 2 令和3年度 ほどがや市民活動センター 事業目標一覧・事業報告シート 令和3年度 ほどがや市民活動センター 施設利用状況 4 ほどがや市民活動センター評議会会則 5 ほどがや市民活動センター協働運営会議会則・組織図

\*飯島生涯学習支援係長の挨拶に続き、評議会会則第8条に基づき、委員5名出席のため、本評議会の成立が確認された。

\*令和3年度第2回評議会議事録を、ほどがや市民活動センターホームページに掲載する旨を出席委員全員の了承を得た。

## 議題1：令和3年度 ほどがや市民活動センターの運営及び事業報告

アワーズ事業目標一覧に基づき、各事業担当職員より、令和3年度事業報告を行う。

### 【委員からの質問および意見と回答】

#### 土を耕す

##### 地域の活動訪問 / 広域ネットワークづくり

(質問) 区を超えてネットワークをつなげているのは素晴らしいと思う。ところで地元、足元の町内会等からの相談やネットワークなどのつながりはあるか。

(回答) ネットワークに参加というよりも事業を通して顔が繋がった一例として、アワーズ前の「一里塚公園」2か所の花壇の整備をアワーズ登録団体が関わった。公園は地域自治会所属の公園愛護会が管理しているので区役所、土木事務所に相談するなどコーディネートを実施し一同が会する場を作り現在も活動は継続中。また町内会・自治会はアワーズの印刷機の利用が多く、その際の会話を通して顔が繋がってきている。コロナが落ち着いたら地域の施設訪問も開始したいと考えている。

#### 広報

(質問) 区役所にはパブリックビューイングはあるか。

(回答) 区民が活動内容を展示する場所として区役所1階の展示コーナーとJR保土ヶ谷駅ビルのアーバンアートを用意している。パブリックビューイングはない。

(意見) サイネージなどは購入しておくとし繰り返し使用可能でこれは利用価値がある。

・区役所1階窓口のモニターは音声の利用は不可だが画像だけでも対応できる。2～3分の内容のものが無料で使用できれば広く周知できる。

#### 街の学習応援隊事業

(質問) 応援隊のちょっと体験講座では5組の内申し込みの無かった講座を除いた3組のみの実施との報告だが、当日通りがかりの人にちょっと寄ってもらおう工夫などはできなかったのか。

(回答) 準備する材料の関係もあり当日の対応は行わなかった。

#### オンライン活動はじめ隊

(質問) スマホの相談について、以前より活動している団体のパソコン相談会でも対応しているのでは。

(回答) 相談会でも対応しているようだが職員が窓口で聞かれることが増えてきた。Zoom講座の時には隣の席の団体からスマホについて教えて欲しいと希望が出たこともあった。講座の最後30分は自由時間として質問を受けたり、講師が複数のスマホを用意して機種別に指導できるよう工夫したりしていた。学生が対応することもあり、今後については試行錯誤していく。

(意見) スマホ講座に関連して、聞きたいときに予約なしでも対応してくれる場として実施してもらいたい。

・これは職員でも対応可能だが、個別に応えられる範囲で対応すればよい。何でも要望を受

ける必要は無く、市民活動に関する内容に範囲を決めるなど仕分けをすればよい。

## 種をまく・水をやる

### ほどがや防災塾（動画撮影）

（質問）防災動画の広報はどの様にしているか。

（回答）チラシを作成し各施設に配布。併せて自主事業の講座実施時に動画を活用する予定。

（意見）防災センターのホームページからリンクできるようにする、また区役所ホームページに掲載してもらうことは効果的、見やすいホームページと併せ区役所さん是非協力を。

（回答）昨年10月の広報よこはま保土ヶ谷区版に掲載している。

（意見）広報に出ているのが一番効果的。区民はチラシでなく広報を見る。

・防災に関して行政をはじめ動画はたくさん出ている。防災に限らずアワーズが今後動画に取り組む時はアワーズの特徴をPRするなどして行政や他との差別化をするのが良い。

・この動画の内容は行政が作成したものに思える。地域で活動している防災関連の団体を何故活用しないのだろう。川崎では30代の若いお母さんたちが子育てをしながら防災食について選び方から実際に食べる体験、簡易トイレの使い方の実験などを通して急場に役立つ学習を行っている。このように地域の団体を講師にする、町内会と連携するなどの視点を入れて欲しい。

・災害時マンション住民は壊れない限り自宅待機となっている。こういった自主防災の考え方を周知して欲しいし停電時にトイレの水が流れないことも有る。区役所の防災計画に入れてほしい。

### その他意見

（意見）種をまくの 카테고리からは今回報告数として一つだけ、土を耕す・水をまくとの分け方でもっと多くなるのではと感じた。

・今回の報告の内容を聞いてセンター長のカラーが良く出てきている。種をまくの学生チームは保土ヶ谷でインターンを通して色々勉強をさせてもらい、他のまちで種をまいていくのだろう。この種をまくところはすごく大事だと思う。今年度インターンシップに参加した8名の学生に行ったこの社会教育プログラムを保土ヶ谷に残る形で子どもたちにブラッシュアップしてほしい。期待しています。

### その他意見

・若い人たちが多く参加しているのは素晴らしいと感じると共に保土ヶ谷区民の姿が見えない。保土ヶ谷に住む区民の満足度や波及効果を考えて。

・確かに地域の人の顔が見えない。地域に視点を向けた事業が見えてこないなので今後は地域に根差した活動の人々や生涯学習のサークル等に目を向ける。アワーズに集まった人たちが何かを始める視点は外さないようにする。

・自治会・町内会と連携した活動や子育て世代、高齢者の居場所、例えば30分から60分程度、テーマは何でもよいので少人数で「おしゃべりコーナー」を設ける。

・活動団体が既存の活動だけでなく時には数人程度集まってただしゃべるだけ、どの年代でも良いのでストレス解消になる。お互い顔を見るだけでも次への元気がもらえる。

（質問）アワーズは市民活動だけでなく、生涯学習の拠点としての大切な役割がある。町内

<p>会と絡んだ「おしゃべりの場」を行うことについて区役所としてどの様に考えているか。</p> <p>(回答) 町内会とのつながりは強くしていきたいと考えているが、最近はお祭りなども余りなくきっかけづくりを含め今後改めて考えていきたい。</p> <p>(質問) 老人会はあるか。</p> <p>(回答) 区老連(かがやき会)があるが現在高齢者は集まってはいけない雰囲気。これからは三世代みんなが集まってやれること(未来運動会)など実施できればよい。オンラインだけでは人のつながりはできない。</p> <p>(意見) 地域には優秀な人材やボランティアさんが数多くいる。アワーズがどの様に地域を巻き込んでいくか開拓していくか今は良いチャンスの時期だ。インターンシップも良いが地域のボランティアさんがアワーズを手伝うことなど柔軟な企画で進めて欲しい。</p> <p>(その他意見)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・相鉄線の高架により星川、天王町のまちが変わろうとしている。この土地の歴史を皆さん知っているのか、どんな変わり方をしたのかどこに行けば分かるのか等が伝わっていない。今後に向けてアワーズにも是非力を借りたい。</li><li>・アワーズが設置されて16年、立派な施設になってきたが地域にとってどうだったか、地域がどう見ているのかを客観的に考え、新しい時代に対応しながら地域を支える拠点になって欲しい。</li><li>・アワーズの建物などの老朽化に伴い、区役所でも修繕計画を立てて対応して頂きたい。</li></ul>
議題2：アドバイスシート記入
議題3：その他意見交換 「令和3年度アワーズの1年間を振り返って」北川センター長から説明